

# 障がい福祉瓦版

～2人と1匹(?)が歩む共生社会への道～



■問い合わせ先

下野市障がい児者相談支援センター

☎(37)9970

## 第十二歩 今年度もよろしくお願ひします

### 【新年度の幕開け】

(鈴) これは事件ですね。

(毛) ええ、まさしく。

(ゆ) ねえ何?何が起きたの?

(鈴) わからないんですか、ゆうぼん。

(毛) 今月から新年度だっていうのに、この瓦版がまだ続いているんですよ!

(鈴) なにはともあれ今年度も皆さんよろしくお願ひします!

(毛) あ、あとついでとってはなんです。

(ゆ) ん?なにに。まだ何かあるの?

(毛) いや、そんなに騒ぐことでも無いんですが。

(ゆ) んもお、何なのよあなたたちは!勿体ぶって!

(鈴) 実は下野市障がい児者相談支援センターがパワーアップし

### 【リニューアル】

(ゆ) もしかしてセンターの名称も変わってしまうとか?

(毛) ふふふ、さすがゆうぼん。我々との付き合いが長いだけある。

(ゆ) いや、まだ1年も経っていないけど…

(鈴) ご名答!実は名称も変わるのです!スペクタクルな変貌を遂げるのです!

(毛) では発表いたしましょう!その名も…

(ゆ) ドキドキ

(鈴) 下野市障がい児者相談支援センター!

(毛) おおー!

(ゆ) え、え?なんて?

(鈴) ですから、下野市障がい児者相談支援センター!

(毛) キターー!!

(ゆ) えーと、質問よろしいでしょうか?

(鈴) はい、ゆうぼん!

(ゆ) どこがどう変わったのでしょうか?

(鈴) ですから!下野市しょ…

まして。

(ゆ) パ、パワーアップ?どういうこと?

### 【基幹相談支援センター?】

(鈴) 下野市障がい児者相談支援センターは今年度から「基幹相談支援センター」となり、機能強化がなされたのです。

(ゆ) 正直よくわからん…

(毛) 具体的にはまず、人が増えました!

(鈴) それに伴い、相談支援センターの仕事の2本柱である「相談対応」と「地域づくり」にこれまで以上の力を入れられることとなります。

(ゆ) 相談対応はわかるんだけど、地域づくりって具体的にはどういうことなの?

(鈴) ひとりひとりの相談に対応していると、いまの地域の体制では解決のできないことも色々出てくるんだ。それを仕

(ゆ) いや、声高らかな発表はもういいから端的に。

(毛) 「児」が入ったんですよ、「児」が。

(鈴) そうそう。これが入ると入らないのでは大違い。ピッとしますねー。

(ゆ) あまり変わらない気が…

(毛) シャラップゆうぼん!!医療的ケアを必要とする人や精神障がいを抱える人たちなど、どんな人にとっても住みやすい

地域づくりに着手する基幹相談を実施していくのです!

(鈴) いずれにせよですが、市民の皆さん、今年度から下野市障がい児者相談支援センターと名称を新たにスタートしました。障がいに関するご相談やご意見など、お気軽にお声掛けください。

(鈴) 障がいの有無にかかわらず、市民

方がないこととして解釈するのではなくて、なぜ解決ができないのか、どうすれば解決が出来るのかを検討し、活動していくことかな。

(毛) 昨年度までは僕ら2人でやっておりましてので、正直手を付けたくても、できないことがあったんです。でもこれからはもうガシガシやっていきますので!

(鈴) これまで「センターに電話しても誰もいない」というお声も多数聞かれてご迷惑をかけることもしばしば。しかし市民の皆さん、ご安心ください。この点も解消できるかと思えます!電話、来所、訪問など皆さんのご希望に沿った形で対応させていただきます!

(毛) なんだか大風呂敷を広げているけど大丈夫かしら。

(鈴・毛) お任せあれ!

の皆さん一人ひとりがいきいきと暮らせる街を目指して精進いたしますので、これからもご協力のほどよろしくお願ひします。(?)春は新たな門出の季節ですからね。この瓦版も昨年度とはひと味違う切り口で発信していきますので、お楽しみに!

(ゆ) だ、だれなのアナタは!?!いや、アナタたちは—!?

※詳細は33ページをご覧ください!

4月から下野市障がい児者相談支援センターとなりました。今後とも宜しくお願ひします。

